

本社および中核拠点を江東区新砂に移転

SGH グループリソースへのアクセスと低温食品配送を強化、サービスの利便性向上へ

SG ホールディングスグループで百貨店・大規模小売店向けの納品代行や館内物流を展開する株式会社ワールドサプライ(本社:東京都江東区、代表取締役社長:梅木 淳)は、本日、本社および中核拠点「第 1ABC」の機能を江東区新砂に移転し、「東京営業所」として稼働を開始しました。冷蔵・冷凍設備を新設し低温食品配送の強化を目指すほか、グループ各社の主要拠点が集積する同エリアへの移転により、グループシナジーを生かしたサービスの高度化を図ります。



新社屋となる SG リアルティ新砂

■移転先概要

拠点名	東京営業所(第 1ABC から改称)
住所	東京都江東区新砂 2-1-1 SG リアルティ新砂
面積	22,405.08 m ² (賃借部分) 5 階: 15,476.29 m ² (うち倉庫部分 11,354.85 m ²) 6 階: 6,928.79 m ² (うち倉庫部分 6,818.99 m ²)
主な設備	トラックバース 43 台分、空調設備、ムービングラック、自動仕分け機、化粧品製造所、冷蔵・冷凍庫、EV トラック充電器
特徴	・最新鋭の自動仕分け機を導入し、業務効率の向上と品質維持を両立 ・佐川急便中継センターとの同居により拠点間輸送を削減、環境負荷を低減した高効率な輸送が実現可能 ・東京メトロ東西線南砂町駅から徒歩約 2 分と、従業員の通勤の利便性も向上

■移転の背景・目的

冷蔵・冷凍設備の新設により、長年にわたり百貨店向けの納品サービスや豊洲市場からの共同配送を通じて培ったノウハウを生かし、デパ地下商材をはじめとする低温(冷蔵・冷凍)食品配送の強化を図ります。

また、SG ホールディングスグループ各社の主要拠点が集積する江東区新砂に移転することで、グループ内のシ

一ムレスな連携により、従来よりもさらに利便性の高いサービスの提供を目指します。

■移転により目指す効果

1. グループシナジーによるサービスの高度化

東京営業所が立地する江東区新砂には、当社グループ事業会社の主要拠点が集積しています。グループ各社との連携により、輸出入や国内遠方地域に向けた発送など、より高度な輸送サービスを提供します。

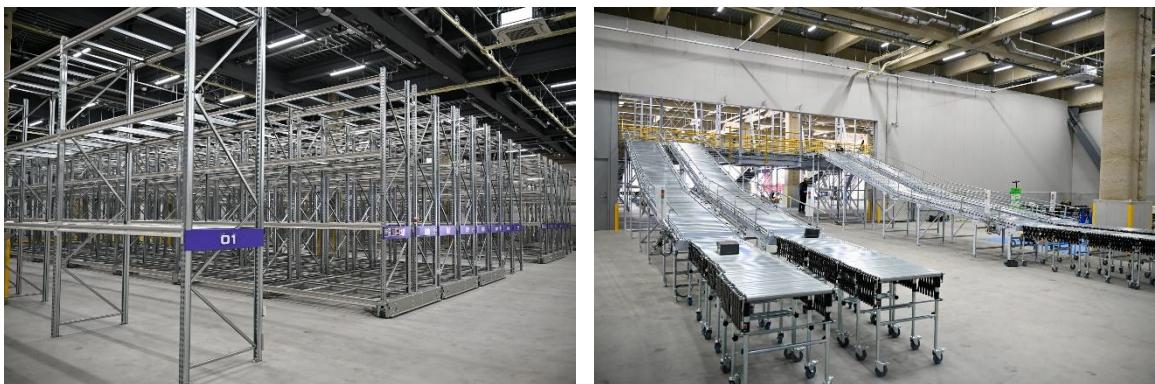
2. ロジスティクス事業における利便性向上

佐川急便の中継センターをはじめ、グループ各社の拠点と同居および近接しているため、遠方や海外への個人向けおよび店舗向け発送におけるリードタイムの短縮が期待できます。11月に稼働開始した郊外型倉庫である谷田部センターと組み合わせ、商材の特性や発送先に合わせたより柔軟かつ効率的な物流オペレーションの提供が可能です。

3. 納品サービス事業におけるサービスの拡充

第1ABCの優位性を支えていた都心部へのアクセスは変わらず、冷蔵・冷凍設備を新設することで、これまで限定的であった食品の取り扱いを大幅に強化します。百貨店や大型商業施設で取り扱うほぼすべての商材の配達を当社で担えるようになり、車両の集約による環境負荷低減や納品の効率化につながります。

また、自動仕分け機を大規模に導入し、作業時間を年間約30,500時間※削減します。全国の百貨店向け中継センターとして、作業効率を高めることでサプライチェーンの効率化を図り、労働力不足が深刻化する社会情勢の中でも引き続き定刻納品の維持を目指します。



新拠点内観。最新の設備を活用し、品質を維持しつつ効率化を図る

当社は今後も、流通ソリューションパートナーとしてグループの総合力を生かしてお客様の多様な課題に寄り添い、持続可能なビジネスの発展に貢献します。

※当社の作業実績をもとに、20日／月稼働として算出

SGホールディングスグループは、純粹持株会社SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

＜報道関係お問い合わせ先＞

株式会社ワールドサプライ 経営企画部 広報担当

tel: 03-3529-5115 mail: ws@world-supply.co.jp